

2018年10月5日

【為替ヘッジあり】東欧金融事業者支援ファンド 31号運用状況についての満期時報告

表記ファンドはこのたび満期償還を迎えましたので、満期時報告を以下の通りご連絡申し上げます。

出資金総額	: JPY 62,840,000.-
うち投資総金額	: JPY 58,441,200.-
うちヘッジ担保金	: JPY 3,142,000.- (USDJPY 109.92)
うち運用手数料	: JPY 1,256,800.-

## ===運用開始時の状況===

グループ会社貸付実行日	: 2017年9月5日
グループ会社貸付金額	: EUR 447,140.02
適用直物 EURJPY レート	: 130.70
適用先物 EURJPY レート	: 129.43
グループ会社貸付期間	: 2017年9月5日から 2018年9月25日
資金運用日数	: 385日
グループ会社貸付金利（年利）	: 13.0%

## ===運用終了時の状況===

予定グループ会社返済利息額	: EUR 61,313.31
実現グループ会社返済利息額	: EUR 61,313.31
運用目標達成率	: 100.0%
実現元利金返済額	: EUR 508,453.33
グループ会社負担外為両替手数料	: EUR 0.00
出資者返済原資	: EUR 508,453.33
実現直物 EURJPY レート	: 129.43
ヘッジ担保金払戻額	: JPY 3,220,607.- (USDJPY 112.67)
円貨換算出資者返済原資	: JPY 69,029,770.-
ファンドの実現利回り	: 9.2% (期間：2017年9月5日～2018年9月30日)
募集時期待利回り	: 9.2% (期間：2017年9月5日～2018年9月30日)

## 運用者コメント

本ファンドはユーロ建てで当初の予定通りの期待利回りを達成して満期を迎えることとなりました。運用開始時に元金部分に円ヘッジ取引をしていた（約定レート：1ユーロ当たり129.43円）ため、運用開始時に1ユーロ当たり130.70円だった換算レートが運用終了時に1ユーロ当たり132.91円となり、円安が進行した中で為替益を享受することができませんでした。それらを踏まえた円建ての運用成績は全体で6,189,770円の利益（＝JPY 69,029,770－JPY 62,840,000円）となりました。

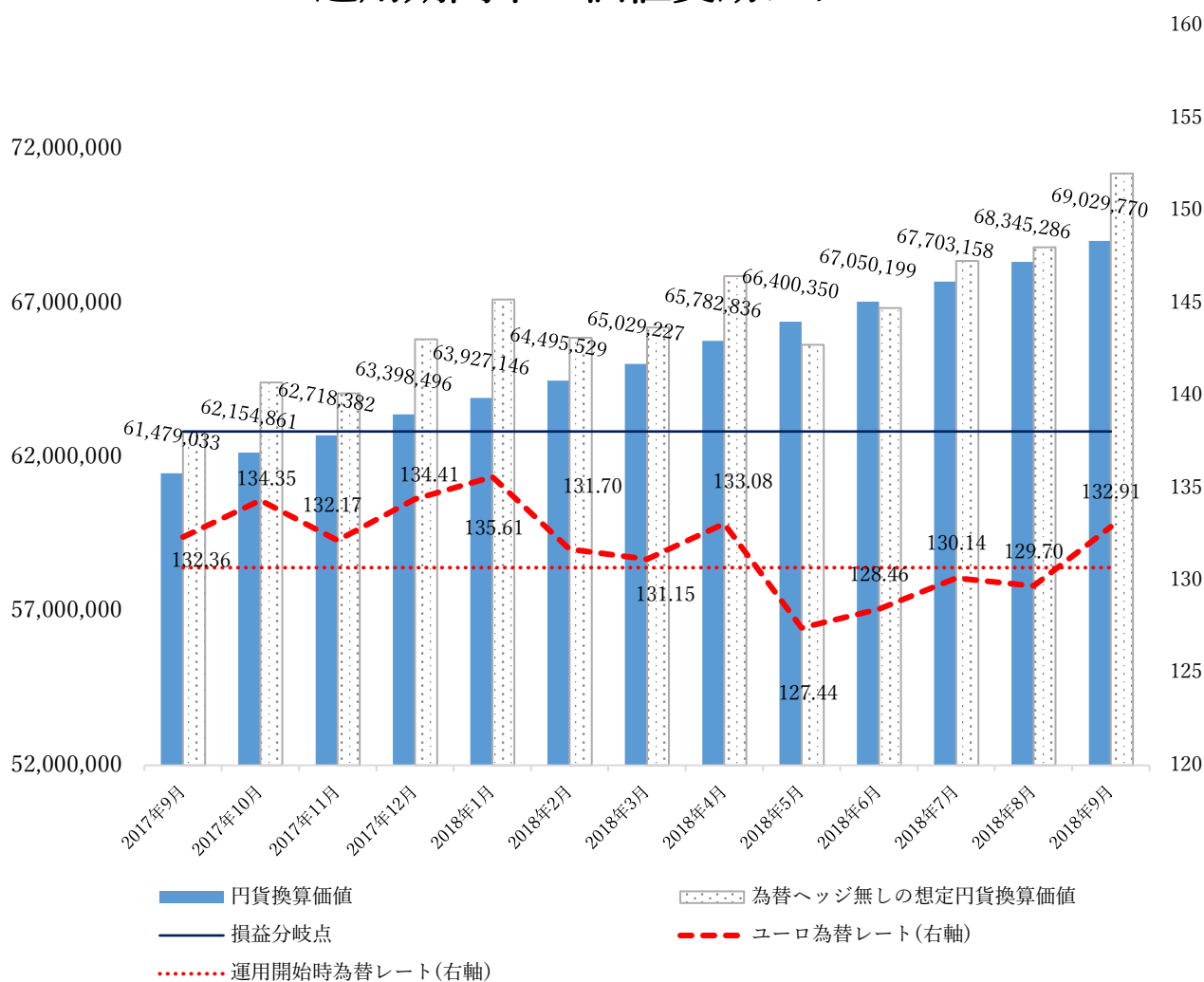
なお、ヘッジ取引におけるコストにつきましては、ファンド販売時点で見込んでいたユーロ・円の為替予約コストに対してファンド運用開始時の為替予約コストが微小ながら増加いたしました。具体的には、ファンド販売時点の想定が「円プレミアム110銭（＝ユーロ・円の直物レートに対して110銭円高の価格で為替予約が可能）」に対して、実際のコストが「円プレミアム127銭（＝ユーロ・円の直物レートに対して127銭円高の価格で為替予約が可能）」となりました。これにより、当該ファンドにおいて出資者返済原資EUR 508,453.33に対して86,437円のコストがファンド販売時の想定よりも多く掛かりました。一方で、ヘッジ取引開始時に担保金として営業者に預託した3,142,000円は、当時の為替レート（1ドルあたり109.92円）でドルに交換されて預託されておりましたが、分配時点では為替レートが1ドルあたり112.67円と円安に進行したため、78,607円（＝3,220,607－3,142,000円）の為替差益が発生いたしました。

ヘッジ担保金にかかる為替リスクや為替予約コストは市場環境によって変化するため、当社で完全にコントロールすることは不可能ですが、投資家様の受け取られる収益を最大化できるよう、為替予約取引に伴うリスクやコストを削減すべく最善を尽くしております。為替変動リスクを限定しながら信用リスクに見合う収益を確保する投資案件として投資家様のお役に立てるよう邁進させていただきます。

投資家のみなさまにおかれましては、今後とも東欧金融事業者支援ファンドをご愛顧いただければ幸いです。

運用期間のファンド価値の推移 (単位：円)

## 運用期間中の価値変動グラフ



### <会社概要 (クラウドクレジット株式会社) >

【代表者】 杉山智行

【設立年月日】 2013年1月

【資本金等】 1,334,548千円

【URL】 <https://crowdcredit.jp/>

第二種金融商品取引業

関東財務局長(金商)第2809号

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 加入